

高知家の出会い・結婚・子育て応援団交流会 「育休プチMBA®」

～育児と仕事を両立するための考え方を学ぶ勉強会～

開催報告

高知家の出会い・結婚・子育て応援団交流会

「育休プチMBA®」を令和3年1月27日(水)と2月16日(火)の
2回、オンラインにて開催しました。

勉強会の様子や参加者の皆さまの声について、ご紹介します。



講師のご紹介

第1回 1月27日(水)



“仕事と育児の両立”を楽にするために
～クリティカル・シンキングとマネジメント思考を考える～

講師 (株)ワークシフト研究所 所長
育休プチMBA®代表

国保 祥子氏

第2回 2月16日(火)



“仕事と育児の両立”を乗り切るための
職場コミュニケーション
～上司、同僚、顧客の視点を捉え自身の役割、業務を考える～

講師 (株)ワークシフト研究所 講師・研究員

小谷 恵子氏

勉強会の様子

参加者 延べ20名

育休中の方や、育休後復職された方が参加。

オンライン開催ということで、ご自宅でお子様のお世話をしながらご参加された方もいらっしゃいました。



ワークショップ

復職後誰もが経験しがちな具体的事例を用い、課題についてディスカッションを行います。参加者同士や講師とのやりとりを続けることで、自分の考えが整理され、思考力を高めていきます。

ディスカッションタイムでは、事例における課題の洗い出しや解決方法を議論するほか、仕事と育児の優先順位などについても活発な議論がなされました。参加者の皆さんからは、新たな気づきや納得している様子が伺えました。

第1回事例：復職後、働き方に悩む女性と配慮をする上司

第2回事例：復職後の社員を抱え、課内の業務の偏りに悩む課長

講師：仕事と育児の優先順位について、皆さんはいかがですか？



参加者Aさん：
私は仕事が一番です。



参加者Bさん：
私は育児を優先したいです。



講師：仕事と育児の両立のためには、高すぎず低すぎない現実的な理想形を考えることが大切です。



裏面も見てね

☐ランチ交流会

ワークショップ後は30分の交流タイムを設けました。

リラックスした雰囲気の中、参加者の皆さまはお互いに交流を深めながら、ディスカッションの続きや仕事と育児の両立に対する意見交換のほか、講師への質問などもされていました。



○話題

- ・復職したときの希望(時短勤務をするか等)
- ・周囲(配偶者・親など)の協力体制
- ・講師の子育て経験談 など



参加者の反応

コミュニケーションをとれていると思っていても、メインメッセージを伝えられていなければ、すれ違いがままあることが分かりました。当たり前ですが、なかなかできていないため、意識しておく必要があると感じました。

また、皆で意見交換することで自分の意見をブラッシュアップできることを実感しました。



コロナ禍であまり外出ができなかったり、人と会えない中、オンラインで勉強会に参加できて良かった。

また、普段関わることのない同じ境遇にある異業種の方と意見交換でき、様々な意見や感想、体験談を聞けて貴重な経験になった。



色々な方々と意見を交換する中で、自分の中に無かった考えだったり、賛同出来ることが沢山あったりと有意義な2時間でした。仕事上でも情報を共有することで、一人で抱え込まずに仕事が出来たり、持ちつ持たれつで協力することで勤務時間外の仕事が減ったりするのではないかと思います。

復帰するにあたって不安もありますがコミュニケーションを日々大切にしていきたいと思います。



高知県子育て応援キャラクター「るんだ」

応援団の皆さまにおかれましては、対象者の方へお声がけいただきありがとうございました。

高知県では、来年度も継続して当勉強会の開催を検討しておりますので、ぜひ従業員の皆さまへご案内いただきますようよろしくお願いいたします。